

香川県教育委員会事務局  
保 健 体 育 課 長 殿

学 校 名 土庄町立土庄小学校  
学 校 長 名 役 重 和 雅

令和 2 年度 オリンピック・パラリンピック教育実施報告書

I 事業実施前の課題

- ・オリンピックは知っている児童が多いが、パラリンピックは知らない児童が多い。
- ・スポーツへの関わり方が「する」だけと捉えている児童が多い。

II 具体的な取組み

1 活動名 (事前学習) : パラリンピックやパラスポーツ, パラリンピアンについて調べよう。

(1) 日 時 : 令和 2 年 9 月 2 9 日 (火) ~ 1 0 月 3 0 日 (金)

(2) 対象者 : 第 5 学年 1 組 3 0 名

(3) 活動概要及び工夫点 (学級活動の時間・道徳の時間で実施)

I' m POSSIBLE の「パラリンピックって何だろう?」, 「パラリンピックスポーツについて学ぼう!」, 「パラリンピアン香西選手ってどんな人だろう?」を通して, パラリンピックやパラスポーツへの興味・関心を高めた。パラリンピックスポーツの紹介では, 映像資料を多く準備し, 児童が競技のイメージをもてるようにした。その中から, 体験してみたいスポーツについて話し合い, 次時に意識がつながるようにした。

(4) 活動の様子

自分がもしどこか不自由だったら不安になってしまったり、  
スポーツもしてなかったと思います。けど、パラリンピックに出  
ている人は、どこか不自由でもやってみようという気持ちがあっ  
て、すばらしいと思いました。

【パラリンピックってなんだろうの振り返り】

本や映像を見て気が付いたのは、パラリン  
ピアンの人たちは自分のしょうがいをハンデだ  
と思わずにスポーツをしていることに気が付いた。

【香西選手ってどんな人だろうの振り返り】

## 2 活動名 (事前学習) : パラスポーツを体験しよう。

(1) 日 時 : 令和2年10月2日 (金)・11月4日 (水)

(2) 対象者 : 第5学年1組 30名

(3) 活動概要及び工夫点 (体育の時間で実施)

「シッティングバレー」と「ゴールボール」の2種目を体験し、パラスポーツへの興味・関心を高めた。シッティングバレーを行う前には、座って移動する状態の鬼ごっこを経験することで、座ったまま移動することの困難さをより感じる事ができた。

(4) 活動の様子



【シッティングバレーの体験】



【ゴールボールの体験】

## 3 活動名 (中心学習) : オンラインでパラリンピアンにインタビューしよう

(1) 日 時 : 令和2年11月9日 (月)・11月16日 (月) 10:30~11:15

(2) 対象者 : 第5学年1組 29名

(3) 活動概要及び工夫点 (学級活動の時間で実施)

パラリンピアンのお話を聞き、困難なことがあってもくじけずに努力して物事をやりぬく心情や今後のパラリンピックやパラスポーツの発展への思いを学んだ。オンラインインタビューでは、香川県内の小学校2校と合同でパラリンピアンにインタビューをすることを通して、自分たちだけでは気付けなかった視点に目を向けるきっかけとした。

(4) 活動の様子

感想

視力を失うことは、とても、おそろしいことが分かりました。視力を失うと、みんなの顔も見えなくなるので、とても不安になったと思います。けれど、安んず選手は、部屋にひきこもってしまったけど、そこからめげずにゴールボールの選手になれたのは、すごいと思いました。

スポーツに出会って、たくさんの方が変わったのは、よかったです。私も、スポーツに出会って、友達(仲間)が増えました。スポーツが、もっと好きになりました。

【オンラインインタビューのふり返り】



【オンラインインタビュー】

#### 4 活動名 (事後学習) : パラスポーツ体験教室を開催するために準備をしよう

(1) 日 時 : 令和2年12月21日 (月) 13:40~15:25

(2) 対象者 : 第5学年1組 29名

(3) 活動概要及び工夫点 (学級活動の時間で実施)

3学期にパラスポーツ体験教室を開催し、パラリンピックやパラスポーツについて校内で広めていく。クイズコーナーや作成した新聞も掲示し、全校生に知ってもらうために活動していく。また、オリパラすごろくやトランプ等の遊びグッズも作成して各学級に配布し、雨の日の校内での過ごし方の注意喚起と同時に、楽しく遊びながらオリンピックやパラリンピックにふれることができるようにする。

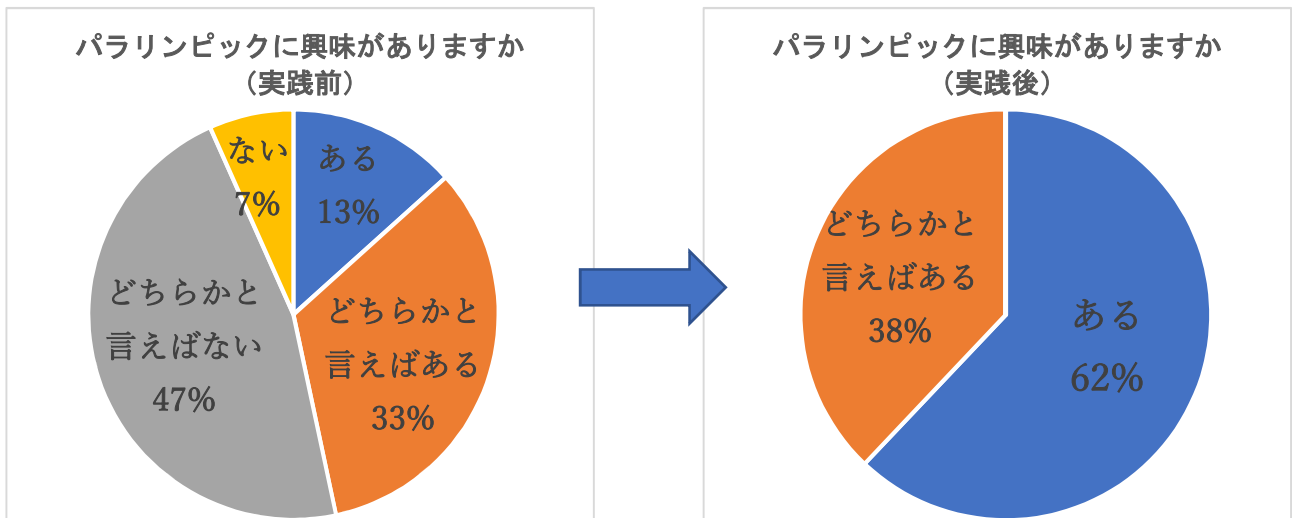
(4) 活動の様子



【パラスポーツ教室の準備をしているところ】

### Ⅲ 成果と課題

○児童の意識の変容を見ると、パラリンピックについて学んだことでパラリンピックへの興味や関心が高まった。



○パラリンピアン競技に対する思いを知ったり、実際に競技を体験したりすることで、応援したいという気持ちが高まった児童や情報発信をして競技を広めたいという思いをもった児童が増えた。スポーツに対して様々な関わり方があることを学ぶことができた。

○パラリンピアンにインタビューをする(オンライン)ことで、「様々な困難を乗り越えながら、今も自分のできることに精一杯取り組んでいる姿」を知り、困難なことから逃げずに立ち向かうことの大切さに気付き、自分の生き方を見直そうとする姿勢が見られた。

○オンラインを活用することで、コロナ禍の状況でもパラリンピアンと交流することができた。  
△単元計画を立てていく上で、道徳や総合的な学習の時間等、各教科の内容と関連させながら実践していけば、もっとゆとりをもった活動計画が立てられる。